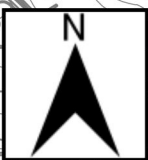


宮脇川水系 宮脇川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5 ～ 3.0m未満の区域
	3.0 ～ 5.0m未満の区域
	浸水想定区域指定の対象となる河川

1) 説明文

(1) この図は、宮脇川水系宮脇川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の宮脇川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により宮脇川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、宮脇川以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項等

(1) 作成主体	愛媛県
(2) 指定年月日	令和 7 年 5 月 30 日
(3) 告示番号	愛媛県告示第 502 号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 2 項第 3 号
(5) 対象となる河川 （実施区間）	宮脇川水系 宮脇川 左岸： 今治市大西町宮脇甲 726 番地 1 地先から海まで 右岸： 今治市大西町宮脇甲 805 番地 1 地先から海まで
(6) 指定の前提となる降雨	宮脇川流域の 24 時間総雨量 789mm
(7) 関係市町村	今治市
(8) その他計算条件等	氾濫区域を 25m 格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

宮脇川

